提出日：2026 年 7 月 1 日
報告者：渡辺

SDGs 委員会 6 月活動報告書

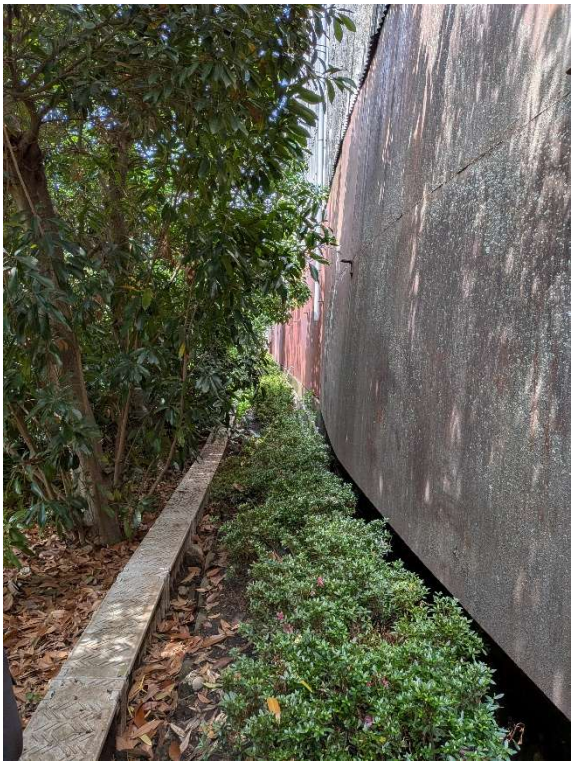
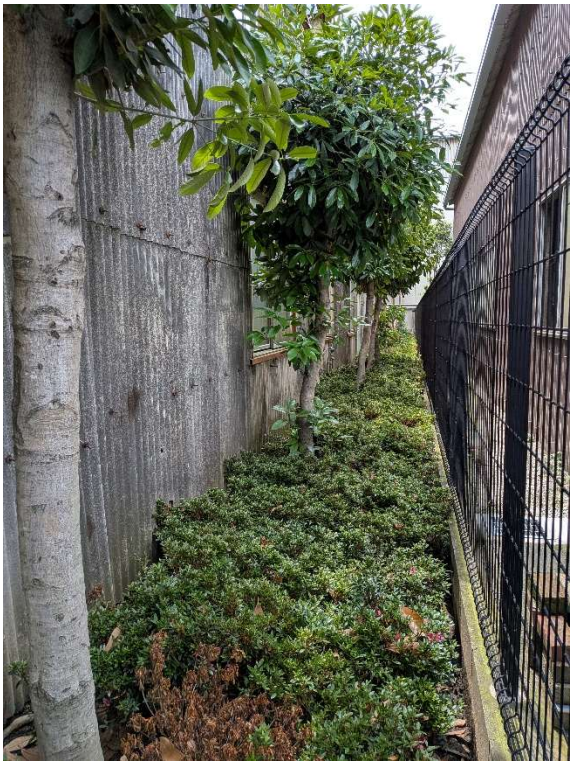
【活動名】
会社敷地の緑化

【活動の経緯と目的】
SDGs 目標 13「気候変動対策」、SDGs 目標 15「陸の豊かさを守ろう」に対する取り組みとして、会社敷地面積の 10%を緑化いたしました。緑化対象は、駐車場・ヤード裏側・通路沿いなど、これまで緑が少なかった場所を中心に選定し、環境負荷の低減を目的として整備を進めました。

【活動内容】
新社屋の建設に合わせ、平塚市まちづくり条例に則り会社敷地面積の 10%を緑化いたしました。

① 駐車場 2 か所の芝生化
敷地内の駐車場 2 区画を芝生へ変更し、アスファルト面の温度上昇抑制、雨水浸透性の向上、利用者の快適性向上を図りました。

② 植栽による緑量拡大
ヤード裏側や通路沿いに新規植栽いたしました。低木と高木を組み合わせることで、防風・防音効果、四季を通じた景観形成、生物多様性の向上など多面的な環境改善を見込んでおります。

【活動の成果】
敷地の未利用スペースを計画的に緑化したことで、地表面温度の上昇抑制や雨水浸透性の向上が期待されます。これは SDGs 目標 13「気候変動対策」 に資する取り組みであり、敷地内のヒートアイランド現象の緩和に寄与できると考えています。また、高木と低木を組み合わせた植栽は、SDGs 目標 15「陸の豊かさを守ろう」 に関連し、植物や敷地内の生態系（生き物）の多様化を促進できると考えられます。

【感想と今後について】
今回の緑化活動は、敷地の環境を整えるだけでなく、従業員が自然を身近に感じられる職場づくりにもつながる取組みとなったと感じています。新社屋で導入した雨水貯留・散水システムを活用することで、植栽の成長を持続的に支え、より循環型の環境整備が可能になると考えています。今後は維持管理を継続しつつ、さらなる環境貢献を進めていきたいと思っています。